

知っている?カローリング&インディアカ。

平成23年度競技審判講習会

瀬谷区スポーツ推進委員のカローリングとインディアカの競技審判講習会が2011年11月13日、瀬谷スポーツセンターで開催されました。各地区から59名が参集し、チームに別れて試合形式で熱心に講習を受けました。



カローリングのルール説明を受けるメンバー。ストーンの代わりはジェットローラー。

特にカローリングは新種目で氷で行うカーリングの体育館使用版です。ジェットローラーを押し転がす方法に、下肢に障害を持つ人達に適した、椅子に座って長い棒状の筒を利用して転がす方法なども研究されています。



カーリングの緊張感と興奮を手軽に体育館で。



注意! 写真左上がインディアカの羽根です。

おめでとうございます~平成23年度表彰受賞者

全国体育指導委員功労者: 兼田 治彦 (本郷)

関東体育指導委員功労者: 高橋 友幸 (瀬谷北部)

横浜市スポーツ推進委員永年勤続者

25年勤続: 土居 義彦(阿久和南部) 根本 肇(三ツ境)

15年勤続: 佐藤 昭(瀬谷第四) 河田 義夫(南瀬谷)
長谷川 利通(南瀬谷)

瀬谷区体育協会体育功労者: 細井 芳明(三ツ境)

楽しく学んできました。

12地区スポーツ推進委員交流研修会

3月11日(日)、瀬谷スポーツセンターにおいて12地区スポーツ推進委員を対象に、地域スポーツ・レクリエーションリーダーとしての技能向上を目的に実技の実践的研修(カローリング・ソフトバレーボール)が行われました。



ジェットローラーはまるでストーンが氷の上を滑るかのようにはずれていきます。



ナイススト! ソフトバレーボールは柔らかいのでオーバーハンドトスも容易。

その後、南台ハイツ集会場において12地区スポーツ推進委員による各地区の紹介や活動報告があり、和やかな雰囲気の中、情報交換会を終了しました。



熱心に意見交換。

編集後記

今号で「Let's Sport!」も第10号の発刊となりました。これも広報部会員の努力の結晶と思います。そして、「体育指導委員」の名称が「スポーツ推進委員」に変更となり、名称変更後初めての広報誌となります。体育指導委員の時は『体指(たいし)』の愛称で親しまれてきました。これからはスポーツ推進委員となりますが、この新しい名称が早く親しまれるよう、そしてより一層皆様に愛されるよう、部会として努力することを誓って編集後記とします。(長)



Let's Sport! Vol. 10

瀬谷区スポーツ推進委員だより 発行日:平成24年6月18日 瀬谷区承認第6号 発行:瀬谷区体育指導委員連絡協議会広報部 事務局:瀬谷区地域振興課 Tel:367-5697 Fax:367-4423

YOKOHAMAのスポーツシーンを全力サポート!

第3回横浜国際女子マラソン大会沿道警備に参加して
2011年11月20日(日)、第3回横浜国際女子マラソンがみなとみらい地区を中心に開催されました。

本大会の沿道警備も今回で3回目になり警備の雰囲気にもだいぶ慣れ、楽しみながら警備をすることが出来ました。週間予報ではずっと雨の予報でしたが、普段の行いがよいのか、単に晴れ男がいるのか、当日は前日までの雨が嘘のようにきれいに晴れ上がりました。気温も季節はずれに上昇して夏を思わせる陽気で、支給されたウィンドブレーカーを着るとかなり暑く、我々も選手同様暑さとの戦いの警備となりました。瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会の担当場所は赤レンガ倉庫付近でしたが今回は天気も良く、また新名所のカップヌードルミュージアムがオープンした為か人通りも大変多い中での警備でした。さてマラソンの方はといえば、暑さのせいかタイムは前回より悪かったようですが、本命の尾崎選手ではなく最後に大逆転をした木崎選手の優勝で幕を閉じました。次回は我々もこのようなドラマの生まれる場所で警備が出来たらよいと思います。当日は暑い中、警備に動員された皆様お疲れさまでした。



折り返し地点を過ぎてサークルウォーク付近を走る選手。

第2回横浜シーサイドトライアスロン大会を警備

2011年10月23日(日)、八景島シーパラダイスをスタート・ゴールとする第2回横浜トライアスロン大会(参加者888名)が開催されました。

競技は、スイム0.75km、バイク20.0km、ラン5.0kmで争われ、瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会は15名で海の公園~八景島間でランの部を担当。各自拠点警備箇所のコーン設置等をして準備完了。時折薄日の差す曇り空の中で熱い戦いが展開され、参加選手の皆さんそれぞれ

に全力を出しきっての激走に私達も思わず拍手で応援、12時20分に無事終了。皆さんお疲れさまでした。



全力を出し切ったの激走。(八景島付近)

第31回横浜マラソンをサポート

2011年12月4日(日)、北は北海道から南は九州まで、全国から集まった約8,700人の市民ランナーでスタート地点の山下公園は埋め尽くされました。大会はハーフマラソン・10km・車いす12.7kmの3つの部門で激走を展開。瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会の30名は、D突堤シンボルタワーそばの10kmの部折り返し地点という重要拠点の沿道警備を担当。雨上がりのピーカン日和で富士山もくっきり。心地よいボランティア活動でした。



ランナーも余裕の笑顔。

“スポーツ推進委員”です。どうぞよろしく!!

1950年から横浜市の地域スポーツ活動の健全な発展に携わってきた「体育指導委員」の名称が、2011年8月のスポーツ基本法の施行により「スポーツ推進委員」に変更されました。これを機に当機関紙の名称も「スポーツ推進委員だより」に衣替え。タイトルデザインも一新しました。これからもご愛読のほどどうぞよろしくお願いたします。



春を見つけに南へ、南へ。

瀬谷中スタート・湘南台公園スタート合わせて約700名超が参加～第20回瀬谷ふるさとウォーク

主催：瀬谷区ふるさとウォーク大会実行委員会／共催：瀬谷区役所・瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会



江ノ島弁天橋を渡る頃には青空に。さぁゴールだ！

第20回瀬谷ふるさとウォーク大会は、今年一番の寒さかと思われる1月29日(日)に実施されました。

今年は厳寒の時期にも関わらずA・Bコース合わせて700名を超す参加となりました。Aコーススタートの瀬谷中学校では「雪で中止になった大会以外すべて参加してきた」という70歳を超える方々や「小学3年生の子供と参加した」という2組の親子、「老人会の仲間と一緒に江ノ島まで歩きたい」と張り切る年配の方などで熱気に溢れていました。8時20分、やや長かったスターティングセレモニーが済むといよいよ出発、街なかを抜けて

環状4号線から農道へ。ウォークにぴったりな自然いっぱいのコースに参加者の方々の足取りも軽く、楽しく談笑しながら歩く姿に要所に立つ案内係のスポーツ推進委員からも応援と激励の声が掛かっていました。

梅の開花はまだでしたが、カワセミなどの野鳥を眺めたり畑の作物を見ながらゴールの江ノ島に到着した参加者の方々からは満足そうな笑顔で「最後まで親子で歩いてよかった。」「自分の健康に自信が持てた。」「初めて参加したけれども大変よかった。来年も是非参加したい。」などの声が聞かれました。



寒空の下、瀬谷中学校でのAコースのスターティングセレモニー。



霜柱が立つ和泉川沿いを歩いていきました。



道幅の狭い地点ではスポーツ推進委員の指示に従い気をつけて。



遊行寺を過ぎて海までもう一息。



ゴールでは完歩証が渡されました。参加賞はデザイン箸です。



親子で参加。最後まで頑張っ！(細谷ハイイツの丸さんと本郷の久保田さん)



「いつもは走っていますが今日は最後まで元気に歩きます。初回から参加しています。」(横浜瀬谷走友会の仲間と)



看護師の菊池さん談「今日は大変寒かったので、瀬谷中で3人、泉区役所では20人の方が血圧チェックなどを受けられました。それから、靴ずれなどで絆創膏を多くの方にあげました。初めての方に多いです。」



「妻が申し込んだので参加しました。たくさん歩きました。楽しかったです。」(三ツ境地区の塚田さん親子)



「初めてAコースに参加しました。昨年は湘南台ゴールの参加でしたが、思ったより歩きました。来年も参加します。」(相沢の片田さんとお友達)



「近所の仲間を誘って参加しました。寒いので早く歩きたいです。」(第四地区 日ごろお付き合ひのみなさんと)



「娘が6年生なので卒業記念と一緒に参加しました。Aコース24kmは大変ですが、最後まで歩きます。」(山下さん親子)



丹沢がアルプスに变身。



歩きながらバードウォッチングも。カワセミ(左上)、カルガモ(右上)、ジョウビタキ(左下)、ツグミ(右下)